



やさしい日本語講座を開催しました！



・8月26日（土）に『やさしい日本語講座』を行いました。多くの参加者の方にお越し頂き、とても楽しい雰囲気の講座となりました♪



● 中央区社会福祉協議会で行われた『やさしい日本語講座』の内容を一部ご紹介します！

まずは中央区社協の職員より多文化共生プロジェクト調査報告（「外国にルーツのある方の生活と意識に関する調査から見てきたこと」）が行われました。なぜ社協が外国にルーツある方の調査を実施したのか、調査をした結果や調査から分かったことを報告してもらいました。私たちが想像している以上に言葉に対する不安や困り事があるとの結果が出ていて驚きました。外国にルーツがある方とどのように関わるか、どのように行動していけば良いのかとても考えさせられる報告でした。

次は講師の新潟市観光・国際交流部国際課の諸橋氏からやさしい日本語について講義でした。「やさしい日本語」について皆さんは知っていますか？私は初めて聞いた言葉でした。「やさしい日本語」を知らない人がまだ沢山いると思います。「やさしい日本語」をもっと普及していくためにも学んでいく必要を感じました。講義のテーマは3つ。1つ目はやさしい日本語とは何か、2つ目はやさしい日本語の必要性、3つ目はやさしい日本語のコツ（つくり方）を学ぶことができました。特にやさしい日本語の実践は、例題・練習・言い換えワークを行い、参加者の皆さんは熱心に聞いていました。

言い換えワークでは、身近にあるような単語をやさしい日本語に言い換えて当ててもらうゲームを行いました。例えば「年金」という言葉、もしかしたら外国にルーツのある方は分からないかもしれません。皆さんならどのようなやさしい日本語に言い換えますか？パッと思い浮かびましたか？私は「年金」を「高齢者になったらもらえるお金」と言い換えました。でも「高齢者」もやさしい日本語に言い換えないと難しいかもしれません。やさしい日本語には正解も不正解もありません。自分自身伝えたい人のことを思い、伝えるという気持ちが必要なのかもしれませんね。



今回の言い換えワークはグループワークで行ったのですが、年齢、職業など様々な参加者（高校生、日本語教師、民生委員、帰国子女等…）がいたのですが、想像以上に盛り上がりました！！「この単語難しいわ〜」「あぁ〜分かった！」と皆さん和気あいあいとワークに参加しており、時間が限られていたので残念でした。「もっとやりたかった」と言っている方が多くいたので次回はもっとグループワークを行う時間を増やしたらいいなと思いました。

✓ 最後に「やさしい日本語」は外国にルーツのある人のためだけではなく、「やさしい日本語」を必要とする日本人もいます。障がい者・高齢者などにも役に立つコミュニケーション手段です。興味のある方は是非「やさしい日本語」について学んでみてはいかがでしょうか？

↑ 国際課の講師と社協職員による講座の様子

↑ やさしい日本語に言い換えるワークの様子